

あいちアール・ブリュット・サテライト展
国際芸術祭「あいち2022」連携企画事業

升山和明

Drawing



MASUYAMA Kazuaki

KODERA Yoshikazu

小寺良和

Pottery



(掲載は参考作品です)

“未来をひらくアートのか”

愛知のアール・ブリュット

Art Brut in Aichi The Power of Art to Open the Future

日時 | 2022.7.26 TUE — 7.28 THU 一部展示
2022.7.29 FRI — 8.5 FRI 全部展示
10:00 ~ 18:00 (最終日は17:00まで) 入場無料

会場 | 愛知芸術文化センター 12階アートスペース G・H

主催 | 愛知県
共催 | 特定非営利活動法人愛知アート・コレクティブ(愛知県障害者芸術文化活動支援センター)
協力 | 認定特定非営利活動法人ポパイ、社会福祉法人あいち清光会障害者支援施設サンフレンド、
社会福祉法人名東福祉会天白ワークス、あいち芸術福祉株式会社
映像制作 | 丸山 達也

【ご来場の皆様へ】新型コロナウイルス感染予防にご協力をお願いします。

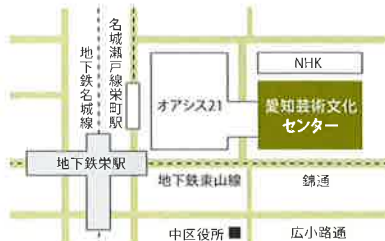
マスク着用	検温を実施します	37.5度以上の熱がある方、体調が優れない方はご来場をご遠慮下さい	消毒液を設置しています	他の人との距離を確保	入場時に名前と連絡先をご記入ください
-------	----------	-----------------------------------	-------------	------------	--------------------

あいちアール・ブリュット Portal Site <https://www.aichi-artbrut.jp> powerofart16 @aichi PowerOfArt

お問合せ | 愛知県障害者芸術活動参加促進事業実行委員会事務局(愛知県障害福祉課内)
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
Tel : 052-954-6697 Fax : 052-954-6920 E-mail : powerofart@pref.aichi.lg.jp



STILLALIVE
国際芸術祭
あいち2022
連携企画事業



● 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
● 蒲戸線「栄町」駅下車、徒歩2分
オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由

これは音声コード「Uni-Voice」です。
機器やスマホアプリで読み取ると、
情報を音声で聞くことができます。



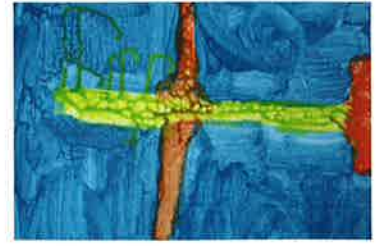
山本 良比古 YAMAMOTO Yoshihiko
「名古屋城」



酒井 勉 SAKAI Tsutomu
「ポーカフェイス」



高橋 真二 TAKAHASHI Shinji
「名古屋地下鉄」



和田 成亮 WADA Shigetaka
「ひこうき」



茅野 大輔 KAYANO Daisuke
「カラフルタウン」



水上 卓哉 MIZUKAMI Takuya
「またここで会おう」



山本 未子 YAMAMOTO Sueko
「私と花園」



奈良 朋紀 NARA Tomonori
「僕のおもちゃ」

(掲載は参考作品です)

国際芸術祭「あいち2022」参加アーティスト

International Art Festival Artist

升山 和明 MASUYAMA Kazuaki

1967年岐阜県生まれ。愛知県拠点。
升山和明はカラフルなコラージュ作品で注目を集めているアーティスト。愛知県の犬山市にかつてあったデパート「清水屋」の外観が主なモチーフであり、作品の多くがこのデパートの外観とタクシー、そして自身の名前でしめられている。周囲のサポートのもと、モチーフを描く、切り抜く、貼る、さらに描くと言う複雑なプロセスを経て作られた作品は、多彩な色と質感にあふれており、デパートや車のイメージが自在に浮遊する中で遊ぶかの様である。愛知県で開催されている「あいちアール・ブリュット展」や「ふれあいアート展」などの公募展への出展を重ね、「第59回小牧市民美術展」にて市議会議員賞(2018年)を受賞。「アール・ブリュット-日本人と自然-in 東海・北陸ブロック」ミュゼ雪小町(2020年、新潟)に参加。

小寺 良和 KODERA Yoshikazu

1957年愛知県生まれ。愛知県拠点。
小寺良和は40年近く、福祉施設で生活しながら作陶を続けている。戦争のニュース映像に強い衝撃を受けたことが発端になり、爆弾をかたどったシリーズを長年制作している。ただし、小寺の作る「バクダン」シリーズは多くの突起や穴を備え、あたかも木の根や海洋生物のような形をしている。恐ろしさ以上に不敵なユーモアを同時に感じさせる点が特徴である。1999年より特定非営利活動法人フロール会の主催する公募展「生(いのち)の芸術 フロール展」(1999年~2008年)に毎年出展。愛知県知的障害児者生活サポート協会による公募展「ふれあいアート展」(2008年~)の第8回と第9回にて名古屋市社会福祉協議会会長賞、第10回に大賞を受賞する。また、「あいちアール・ブリュット展優秀作品」(2014年~)への選出も重ねている。

(国際芸術祭「あいち2022」提供)

あいちの働き方改革のひとつ。

アート雇用 ~絵を描くことを仕事に~

Art employment

2016年に障がいのある方2名が、「あいちアール・ブリュット」展をきっかけに「描くこと」を仕事として企業に就職(在宅勤務)しました。会社や店舗に作品を飾ったり、社員として作品展に出品し、会社をPR・広報するなどの活躍をしています。「描くこと・作ること」を「仕事」に変えるアート雇用は、全国的に珍しい取り組みです。“働くこと”をテーマにした作品をご紹介します。



阪井 大輔 SAKAI Daisuke
「コスモの迷宮」
所属：株式会社 まつおか



小早川 桐子 KOHAYAKAWA Kiriko
「たんぼぼ」
所属：株式会社 東名



山本 真護 YAMAMOTO Shingo
「記憶のアート」
所属：株式会社 Crossvi

(掲載は参考作品です)